

2010-11年度
RIテーマ
「地域を育み、
大陸をつなぐ」



RI会長
レイ・クリングスミス



第2720地区ガバナー
木下 光 一



宇佐ロータリークラブ会長
津々良 洋 一

週報宇佐



陵王面



孔雀文馨

- 例会日 木曜日 P M 12:30
- 例会場 宇佐市沖須町 1-19
トキハインダストリー長洲店 2F
TEL (0978) 38-1112

会 長 津々良 洋 一
幹 事 幡 手 一 義
編 集 本 庄 伸 子

10月は職業奉仕月間

本日のプログラム (10月7日)

1. 会長の時間
2. 幹事報告
3. 委員会報告
4. スマイルカード
5. 内部卓話「職業奉仕月間にあたり」
白杵 確職業奉仕委員長
6. 出席報告

10月の行事予定

- 7日 内部卓話「職業奉仕月間にあたり」
白杵 確委員長
- 14日 内部卓話 西全州RC訪問報告
- 21日 外部卓話 米山奨学生 ^{キョウ} 姜 ^{テウケン} 鏗軒さん
- 28日 内部卓話 廣瀬辰彦会員

2126回 会 22 9月30 の記

- ♪ 点 鐘
- ♪ ソ ン グ 手に手つないで
- ♪ ゲ ス ト なし
- ♪ ビジター 弓長永輝君、田染晃君 (以上2名 豊後高田RC)

会 の 時 間 津々良洋一 会長

皆さんこんにちは、久しぶりのホームグラ
ンドでの例会ですが、先々週の観月例会では、
非常に好天に恵まれハーモニカの音色と共に
楽しいひとときを過ごさせていただきました。
これもひとえに藤本親睦活動委員長を始め委
員の皆様のご努力によるものです。そして忘
れてはならない、毎年お世話になっている三
和酒類安心院葡萄酒工房ご協力によるものと

感謝致します。

さて、今年度も3ヶ月を過ぎようとし、い
よいよ峠にさしかかって参りました。日曜日
からは西全州RC40周年記念式典に合わせ
姉妹結縁延長調印式を含め訪問して参ります。
今回訪問団は会員7名通訳1名数あわせの娘
1人の計9人でいって参ります。日曜日出発
で火曜日の式典参加し、水曜日に帰宅する予

USA-OITA

第2720地区 宇佐ロータリークラブ

事務局 〒872-0032 大分県宇佐市大字江須賀2999番地の2 株式会社ユニックス内
TEL. FAX: 0978-38-2370 <http://www.usa-rotary.com/>

定です。

今回通訳として、是永会員の提案で、姪御さんに当たりますが市長の娘さん千穂さんにご同行いただく事になり、韓国に留学していた経験もあるとのことで、非常に心強く思っています。観光に際しても、本庄会員と千穂さんとで色々案を練って頂いているようで楽しみです。当初より少し参加者が減ってしまいましたが、ご希望者がおられましたらまだ間に合います如何でしょうか。（?間に合わない）西全州RCの会員は現在63名とのことで、一昨年訪問した際は90名を越えていたように聞いていましたので少し減ったようですが、それでも大所帯で、今の韓国の勢いを示しているかのようです。姉妹締結してから39年の歴史ですので、交流そして親睦を深めて参りたいと思います。

韓国と言えば、おもしろい試みをしているので、少しご紹介いたします。

今回空路を利用し、福岡空港から仁川空港（インチョン）着でソウルに移動する訳ですが、仁川空港はソウルから約50km位置し、今やアジアの国際ハブ空港となりつつあるところです、その隣接区域に、松島新都市（ソンドシントシ）が建設されています。そこには高層マンションやホテルが立ち並び、高さが約305mで韓国最高層のオフィスビル「北東アジア貿易タワー」がそびえ、2012年には高さ587メートル、151階建ての「仁川タワー」も完成する予定で、仁川経済自由区域に指定され「空港に近い地の利を生かし、北東アジアのハブとなる都市を目指しています。何がすごいかというと、スマートシティ事業未来都市宣言がなされており、自然環境との共生を重視し、自然が多く。そしてニューヨークのセントラルパークを参考にしたという約4万平方メートルもの広さの公園が広がり、海水を利用した川にはバス代わりの船が行き来し。低層の建築物の屋上は緑化されており、

動植物に優しく木々が生き茂る公園、そして住環境においては、69階建ての分譲マンション等では、スマートシティをテーマとするだけに、住居にはハイテクが満載で、リビングにはエアコンや照明の制御、電力消費量の確認などができる集中制御端末があり、大画面テレビやパソコンでも同じ操作が可能。そして、レストランを予約したり、テレビ会議システムを使って医師の助言を受けたりもできる。これらのシステムは今後、スマートフォンでも操作できるようにする予定で、体重や血圧、体脂肪などのデータを医師に送り、簡単な診断を受けられる「eヘルス」サービスもあり、ゴミをダクトから吸引して収集センターまで自動集積するシステムもあり、街にゴミ収集車は不要。将来はガスを利用した発電システムや、燃料電池バスの導入計画もあり、近隣に地下鉄の駅が複数あるので、自動車を多用しなくて済む、といった理想未来都市の建設が進んでおります。

日本の政治が混迷している間に、お隣韓国では国際戦略としてこのような事業を行っています。

幹	事	告	幡手一義幹事
---	---	---	--------

1. 来信

- 1)ロータリーの友 2010年10月号；配布
- 2)地区インターアクト小委員会より「インターアクト協議会開催について」
10月16日(土) 15:00、ホテルザーズ大分にて
- 3)米山記念奨学会より「米山月間資料（豆辞典、委員長の手引き他）」

2. 例会変更

- 杵築RC：10/7(木)の例会は、10/3(日)9:00～「野口原球場」に変更；別府市近隣7RC親睦ソフトボール大会の為
- 中津RC：10/27(水)の例会は、同日12:30～

「西蓮寺」に変更；職場例会の為

3. 週報受理 なし

4. 理事会報告 なし

5. お知らせ

1)本日例会終了後、定例理事会を開催致します。役員・理事の方はお残り下さい。

2)10月2日(土)朝7時より、フラワーロード花壇の整備を行います。(雨天の場合は10/9に延期)

6. 欠席連絡

砂山正則会員、廣瀬辰彦会員

7. 本日の当番

和田久継会員、石部幸二会員

会議員です。どうぞよろしく申し上げます。
辛島君からひとこと申し上げます。

辛島さん

初めての方もいらっしゃると思います。辛島です。よろしく申し上げます。今回河村さんにお誘いいただいて、この会の意義もふまえて参加しないかということで、私もなにかできることがあるなら、市の為や地区の為に役に立てるならと思いました。まだまだ若輩者ではありますが、よろしく申し上げます。



委員会 告

◎親睦活動

藤本博和委員長

先日は観月例会ありがとうございました。来年度に役立つように反省点などの資料を少し事務局に渡しています。一番足りなかったのは蚊取り線香でした。また、和田社長のご好意により、毎年葡萄酒工房を使わせていただきありがとうございます。帰りに鈴木工房長に会えなかったのでお礼の手紙を書かせていただきました。ハーモニカの田中さんより礼状が来ていますので回覧します。

◎国際奉仕

河村正一委員長

10月3日より全州訪問をいたします。10月5日が西全州RCの40周年ならびに宇佐RCとの姉妹結縁調印式です。同行者は津々良会長、幡手幹事、藤林直前会長、是永SAA、河村国際委員長、米澤国際副委員長、本庄雑誌会報・IT委員長、津々良佳也希さん、是永千穂さんの9名です。

◎河村会員より、入会予定者の紹介

辛島光司さんです。職業分類は塾経営です。ここに市議会議員が2人いますが、彼も市議

スマイルカード 藤本博和委員長

幡手一義幹事：三女に続いて次女も結婚することになりました。

藤本博和会員：①観月例会御協力ありがとうございました。本日は藤林さん卓話よろしく申し上げます。②西全州40周年に同行する事ができなくて残念です。会長委員長以下、道中ご安全に。③土木事務所トンネル受変電設備、受注できました。サプライズです。

藤林鋭司会員：本日卓話をさせていただきます。ゆっくりおねむり下さい。

末宗為十会員：西全州に行けなくなってすみません。

是永潤一会員：藤林会員の卓話よろしく申し上げます。

本庄伸子会員：日曜から西全州に行きます。楽しみにしています。

佐藤憲三郎会員：お月見例会では親睦委員会の皆様に大変お世話になりました。藤林会員の卓話楽しみにしています。

😊ニコニコ累計

165,000円

「ロータリー財団について」

藤林鋭司ロータリー財団委員長



みなさん、こんにちは。
久しぶりに壇上に立たせて
いただきます。昨年度は1
年間会長を勤めさせていただきました。本当にご協力
ありがとうございました。

津々良会長年度になりましてロータリー財団
のセミナーが9月18日（土）に行われました。
私と会長と2人で参加しました。最近、財団
の内容が少しずつ変わっています。

会場は別府大学の太田キャンパスでした。
12時半受付開始、13時点鐘でセミナーが始ま
りました。特に目を引きましたのが、講演を
された世田谷RC会長の高橋茂樹さんという
方の話でした。

寄付金と補助金、MG（マッチンググラン
ト）の事例の研究という発表がありました。
当日は当地区の木下ガバナー以下総勢113名
が参加していました。

古い会員の方は財団についてよくご理解さ
れていると思いますが、そういう方は復習を
兼ねて、新しい会員にはご理解をいただきた
いと思います。ロータリー財団というものは、
1905年のポールハリスによってロータリーク
ラブが生まれた12年後の1917年にアーチ・フ
ランクさんという当時のR. I 会長が設立し
ました。財団は、R. I と同じ意思を持って
いますが、機構としては別になります。財団
では、「世界でよいことをしよう」というテ
ーマを掲げています。財団の使命は、ロータ
リアンが人々の健康状態、教育等に支援をし
ていこうということが主であるということをご
理解いただきたいと思います。ロータリー
財団は、ロータリーにとって欠かすことので
きない存在ですが、ロータリークラブには大き
きな3つの柱があります。年次寄付、個別の

恒久基金、使途特定寄付金（ポリオ撲滅な
ど）の3つです。皆さんが毎年年次寄付をさ
れていますが、この累計が1000ドルになりま
すと、ポールハリスフェローの称号が与えら
れます。この基金は財団へ移りますが、寄付
をして3年間は利殖のために据え置かれ、そ
の後色々なことに使われます。このうち半分
の500ドルはWF（国際財団活動資金）とし
て使用されます。残りの500ドルはDDF
（地区の財団活動資金）として使われていま
す。3年間のうちに利益が生まれますが、こ
の運用方法は、いろいろな人件費、一般管理
費等に使用されています。また、恒久基金は、
1000ドルを寄付しますと、ベネファクターと
いう称号が個人に与えられます。この基金は
財団に蓄積されます。運用はされません。蓄
積した利益を運用しているようです。この利
益もWFとDDFで活用されています。

ロータリー財団のプログラムでは、人道的
プログラムが地区補助金の約20%が上限にな
っています。内容は、マッチンググラント、
その他です。教育的プログラムは、ロータリ
ー財団の国際親善奨学金（GSE）、ロータ
リー平和フェローシップ、その他に使われて
います。それから、なんととっても欠かせな
いのがポリオプラスだそうです。最近話題に
なっていますが、2億ドルの基金をロータリ
アンからしましょうということで、現在1億
4000万ドルが基金として集まっています。ポ
リオ撲滅のために、世界中でロータリアンが
頑張っているわけですが、当クラブも、今日
のように食事が定食でなくカレーの日は、差
額がポリオプラスのために使われています。
このポリオは、おそらくあと4～5年で撲滅
されるのではないかとされています。もし
撲滅をしても、その年から3年間は撲滅宣言
は発表されないそうです。撲滅確認から3年
後に発表されます。

寄付をするということは、世界中の奉仕活

動に参加しているということですが、ロータリアン一人ひとりの寄付が世界中で有効に使われています。今、こうしている間にも、世界中のロータリアン私たちに代わって色々な奉仕プログラムを行っています。つまり、私たちは、寄付をすることによって間接的に世界の奉仕活動に参加している状態です。貴重な寄付金を使って様々なプロジェクトをしているのは、私たちロータリアンであって、私たちの所属するロータリークラブということになります。是非、寄付をするだけでなく、有効なプロジェクトも考えて計画していったはどうでしょうか。

先ほど、会長からもお話がありましたが、韓国の西全州RCの40周年式典と併せまして姉妹締結の調印式も行われます。この西全州RCからMGの提案がありました。趣旨は、角膜移植に関する支援をしませんか、ということでした。この件では、会員の同意や宇佐RCだけでやるのか、ほかのクラブにも参加を呼びかけるのか、など協議をするべきことはありますが、何かできるのであれば、外国のクラブとも協力したいと考えています。

財団の未来の夢計画というものが2年前に発表されています。2013～2014年度（3年後）から始まります。新しいシステムは、2つの助成金・補助金に分けられます。ひとつは、新地区補助金で、最大でDDFの50%が使われます。ロータリークラブのある国でも使うことができます。グローバル補助金の対象となる6つの重点項目を除くプロジェクトに使えるということです。

グローバル補助金は、最小でDDFの50%が使えます。グローバル補助金の6つの重点項目とは、平和と紛争予防と解決、疫病の予防と治療、母子の保健、水と衛生設備、基本的教育と識字率の向上、経済と地域社会の発展です。夢計画のスケジュールとしては、既に2009年2月から6月に3年間の試験的プログ

ラムがスタートしています。7月に全世界から100のパイロット地区が決定し、現在実行中です。今年度から13年の6月までの3年間、試験的プログラムが実行されます。2013年7月からは、全世界で新補助金システムに移行するという事です。東京のロータリークラブでは、取り組んだ事例を発表しています。世田谷RCでは2002年から2003年度の一年間で地区内の23クラブに参加をいただいたということです。フィリピンに中古の消防車、救急車、ごみ収集車を寄贈するプロジェクトを行い、この8年間に72台の車両を寄贈することができました。いろいろな形のMGに取り組んでこられたので、もし当地区でもやるということになれば、相談してもよいのではないかと思います。近年、世田谷RCの行ったMGを紹介しますと、2007年から2008年度にフィリピンに17クラブで共同事業をしています。ルソン島南部およびミンダナオ島の10市町村へ中古消防車の寄贈、2008年から2009年度は、ミクロネシア ボンベイ州にスクールバスの寄贈をされています。昨年度はタイの看護学校に自転車50台を寄贈されたそうです。交通手段がなかなか発達しないタイで看護学校に通われる生徒さんに、ということです。

MGは実際にやってみないと流れは分からないと思いますが、まず、クラブで企画を立案し、地区の世界社会奉仕委員会に相談し、地区補助金委員会に相談してからMGの申請書を作成します。地区の補助金委員会で承認され、R. Iの財団委員会の承認等も得て、実際に申請が行われ、補助金がでます。完結しましたら、その流れを報告書として提出します。

どうして世田谷RCがこの活動に取り組んだかと言いますと、カンボジアやタイは30年ほど前にポル・ポト派という独裁者がカンボジアを支配していましたが、カンボジア国内の医者や教師など知識層をターゲットにして

徹底的に抹殺したため、ポル・ポト政権崩壊後もほんの少しの限られた字が読める人が教師などになったそうです。このような歴史の影響で現在でもカンボジアの教師のレベルは日本の小学生並みと言われているほどです。このような深刻なデータがあることから、カンボジア人が自分の手で自分の国をよりよくできるような土台をつくっていくことが、本当に意味で援助になるという考えで、単に物や教室などを寄贈することではなく、根本にある問題に目を向けて行こうと、このような活動をされたそうです。

ロータリー財団がなぜ必要なのか、といいますと、ロータリーは国際的な組織であります。身近な地域で行われるプロジェクトも、発展途上国や低開発国で行われるプロジェクトも同じロータリーのプロジェクトであり、人種、宗教、地域性、貧富の差には全く関係なく援助を必要としている人々へ手を差し伸べていくことが、ロータリーにとって大切なことです。このようなプロジェクトに参加することによって世界中に手を差し伸べることができます。

ロータリーの組織だけではできないことをロータリー財団では行っています。

			告	出口幸太郎委員長
--	--	--	----------	-----------------

第2126回（9月30日）

会 員 総 数	28 名
（内出席免除）	1 名

出 席 数	23 名
（内事前 MU）	0 名

欠 席 数	4 名

出 席 率	85.19%

回欠席者

小野田義文会員、砂山正則会員、廣瀬辰彦会員
米澤哲也会員

10月2日(土)7時より、フラワーロード花壇の整備を行いました。参加された皆さんお疲れ様でした。

